

TOSHIBA オートグリルキット取付説明書

形名 TCB-GA23CS

安全上のご注意

- 据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。
- 表示の説明

⚠ 警告 「誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。

🚫 禁止 禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

● 強制 強制（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、お客様に取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

⚠ 警 告

- 据え付けは、お買い上げの販売店、または専門業者に依頼すること。
ご自分で据え付け工事され不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
- 据え付け工事は、この据付説明書に従って確実に行うこと。
据え付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
- 電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用すること。また、電圧は製品の定格電圧とあわせること。
電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- 改造、修理は絶対にしないこと。
改造したり、修理に不備があると感電、火災の原因になります。

構成部品

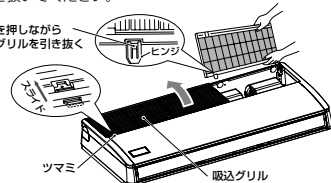
品名	昇降メカA	昇降メカB	取扱説明書	取付説明書	昇降電装箱	受信部	ねじ	コードクランプ
個数	1 (短配線)	1 (長配線)	1	2	1	1	11 4×12	2
形状								

1.天井吊形に取り付ける場合

1.オートグリルキット取り付け前の準備

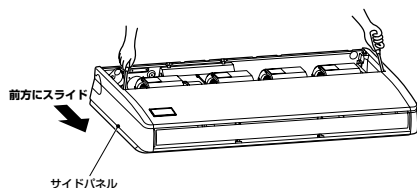
1. 吸込グリル取りはずし

吸込グリルのツマミ（2カ所）を矢印方向にスライドし、開いてください。
吸込グリルを開いた状態で、後部ヒンジ（2カ所）のツメを押しながらかき抜いてください。

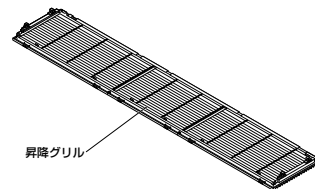


2. サイドパネル取りはずし

サイドパネル固定ねじ（左右各1本）をはずした後にサイドパネルを前側にスライドして取りはずしてください。

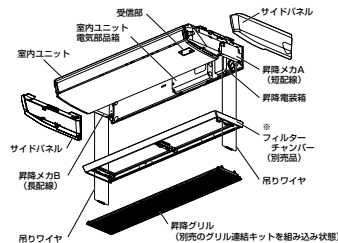


3. 別売部品のグリル連結キットで昇降グリルを組み立てる。
昇降グリルの組立方法は、グリル連結キットに付属している取付説明書に従ってください。



〈注意〉 吸込グリルに使用していたツマミ・ヒンジは応急時に使用しますので、お客様で保管いただくように依頼してください。

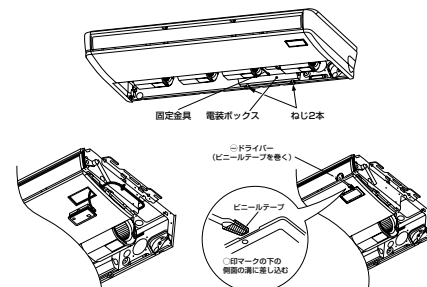
オートグリルキット取付図



※ フィルターチャンバー（別売品）と同時に取り付けることができます。

2.受信部の取り付け

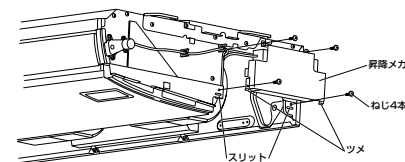
1. 電気部品箱のカバー取付ねじ（2カ所）をゆるめてカバーをはずします。（右図）
 2. 受信部を室内ユニットに取り付けます。
 - ① ○ドライバーの先端にビニールテープを巻き、カバーの○印の下側の溝に差し込んでこじめるようにしてください。（下図右）
 - ② パネルにリード線を通してから受信部をパネル穴に取り付けます。
 - ③ 受信部のリード線は、フラップモータの配線を固定しているコードクランプに固定します。（下図左）ワイヤレスリモコンをご使用になる場合は、別紙の「オートグリルキットとワイヤレスリモコンを併用する場合」の説明書に従って取り付けください。
- 〈注意1〉 受信部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると誤作動の原因となりますので避けてください。
- 〈注意2〉 ユニット電源にノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処置が必要です。



3.昇降メカの取り付け

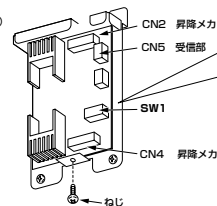
昇降メカの取り付けは、冷媒配管・ドレン配管接続後に行ってください。

1. 昇降メカのツメ2カ所を室内ユニット側面のスリットに押し込み、付属のねじ（4本）で取り付けます。
※ 昇降メカは左右違いますのでご注意ください。
※ 昇降メカの吊りワイヤとパネの入ったビニール袋は、工事が終わるまで取りはずさないでください。



4.昇降高さおよび機種切替の設定のしかた

1. 昇降電装箱のねじ（1カ所）をゆるめ、カバーをはずしてください。
2. ご使用になる高さにあわせて、右図のように基板上のスイッチを設定してください。
出荷時は2.0m天井吊形の設定になっています。
3. 昇降電装箱を室内ユニットに取り付けてください。
室内ユニットの差し込み部に昇降電装箱を差し込み、付属のねじ（2カ所）で固定してください。



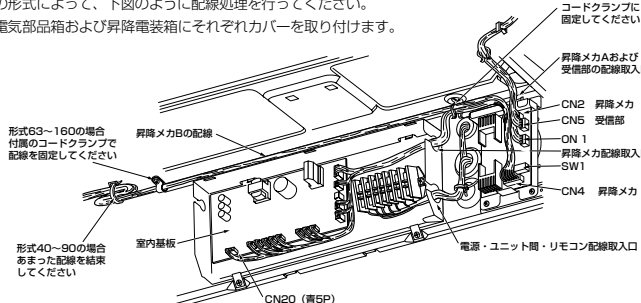
グリル下降距離設定（SW1）
（出荷時設定 = 2.0m 天井吊形）

		※			
高さ [m]	1	2	3	4	
1.0	0	0	0	0	
1.5	1	0	0	0	
2.0	0	1	0	0	
2.4	0	1	1	0	
2.7	1	1	0	0	
3.1	1	1	1	0	

※ 4 は機種の切替です。天井吊形は出荷時の位置（O）から動かさないでください。

5.配線のしかた

1. 昇降メカから出ている配線コネクタを昇降電装箱に接続します。それぞれ昇降メカA（短配線）をCN2、昇降メカB（長配線）をCN4に接続します。
2. 受信部から出ている配線・コネクタを昇降電装箱のCN5に接続します。
3. 昇降電装箱のCN1 から出ている配線コネクタを室内ユニットのCN20（GRL）コネクタに接続します。
4. 各室内ユニットの形式によって、下図のように配線処理を行ってください。
5. 室内ユニットの電気部品箱および昇降電装箱にそれぞれカバーを取り付けます。



6.サイドパネル・昇降グリルの取り付け

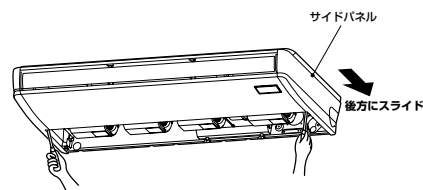
A.サイドパネルの取り付け

- ① サイドパネルを後方にスライドして取り付け、固定ねじで取り付けてください。
- サイドパネルを取り付けるときは、吊りワイヤおよび配線をはさまないように気をつけてください。

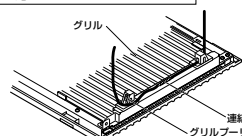
B.昇降グリルの取り付け

昇降メカに貼り付けてあるビニール袋から吊りワイヤとパネを取り出してください。

- ① 図のようにグリルブリーヘワイヤを確実に通してください。
- 取り付けが終わったらもう一度次の確認をしてください
 - ・吊りワイヤの連結部がはずれていませんか
 - ・グリルの吊りワイヤが配線などと接触していませんか
 - ・吊りワイヤがブリーからはずれたり、はさまったりしていませんか



グリルの吊り方



- ② 通電の有無で次の対応を行ってください。

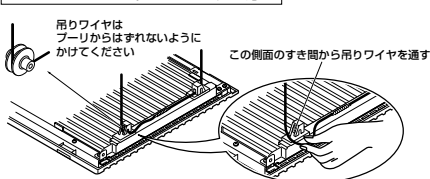
エアコンに電源が通電されている場合

- ① 吸込グリルのツマミ（2カ所）をはずしてグリル連結キットに付属しているシールを貼り付けてください。ヒンジはそのまま取りはずしてください。ヒンジ・ツマミは、取付説明書と一緒に保管してください。
- ② ヒンジ・ツマミが取り付けられていないのを確認し、オートグリル用リモコンで吸込グリルを上昇させます。

エアコンに電源が通電されていない場合

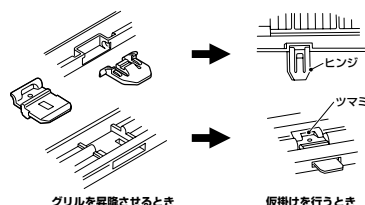
- ① 電源が通電されるまで吸込グリルに取り付けてあるツマミとヒンジをそのまま使用し、吊りワイヤが外に出ないように吸込グリルを取り付けてください。
- ② 通電されたら、必ず上記の“エアコンに電源が通電されている場合”の説明に従い、作業を行ってください。

グリルブリーヘの吊りワイヤの通し方



ヒンジ・ツマミの取り付け方（応急時）

仮掛けを行う場合には、室内ユニットのグリルに取り付けてあったツマミおよびヒンジを使用してください。




7.据付後の設定・その他







(1) 据付後の確認

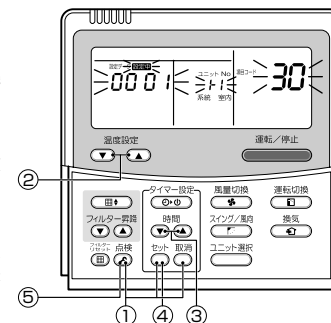
- 配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されていないと、グリルの昇降動作ができなくなります。

(2) 昇降グリルをワイヤードリモコンから操作するための設定方法

ワイヤードリモコンの「フィルタ昇降」ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤードリモコンから下記設定を行ってください。

この設定をしないと  ボタンを押しても“この機能はありません”が表示されます。

- ① 「点検」＋「セット」＋「取消」ボタンを同時に4秒間以上押します。
※オートグリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行う場合は親機に対して設定する必要があります。最初に表示されるユニットNOはグループ制御の親機のアドレスですので「ユニット選択」ボタンを押さないでください。
- ② 温度設定の  /  ボタンで項目コード「30」を指定します。
- ③ タイマー時間の  /  ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更します。
- ④ 「セット」ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
- ⑤ 設定が終了したら「点検」ボタンを押します。（設定が確定します。）
「点検」ボタンを押すと設定中が点滅し、その後表示が消えて通常の停止状態になります。 ボタンを4秒間以上押して液晶表示部に“フィルタ昇降”と表示されることを確認してください。再度  ボタンを押すと通常の停止状態に戻ります。



ワイヤレスリモコン対応の場合

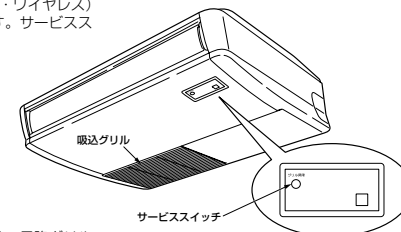
- 別売品のオートグリル操作専用ワイヤレスリモコンでも昇降グリルの操作が可能です。
- 別売ワイヤレスリモコンキットを併用する場合は、別紙「オートグリルキットとワイヤレスリモコンを併用する場合」を参照してください。

(3) 据付後の動作確認

- (2) の設定終了後に、動作確認を行ってください。
- 電源投入時、初めて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。
- 昇降グリルが室内ユニットにきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モータが停止します。

(4) サービス時

- リモコン（ワイヤード・オートグリル操作専用ワイヤレスリモコン・ワイヤレス）を使用しなくても、右図のサービススイッチにて、昇降が可能です。サービススイッチは押すごとに、上昇、停止、下降をくり返します。



サービススイッチでも動作しない場合に、昇降グリルをはずす時は、昇降グリルを下方に引き下げ、サイドパネルを固定しているねじ（2カ所）をはずしてサイドパネルをはずします。昇降メカを固定しているねじをはずして、昇降メカと一緒に昇降グリルをはずしてください。

上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体及び別売部品の説明書等の一式全てとヒンジ・ツマミをお客様へ渡してください。

その際、ユニット本体の取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様へしてください。

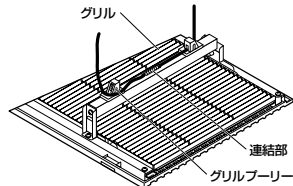
6.昇降グリルの取り付け

昇降メカに貼り付けてあるビニール袋から吊りワイヤとバネを取り出してください。

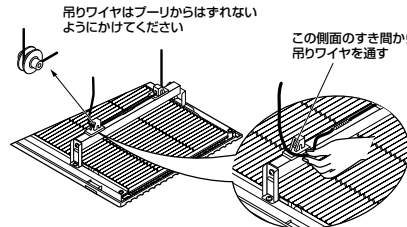
1. 図のようにグリルブリーへ吊りワイヤを確実に通してください。

- 取り付けが終わったらもう一度次の確認をしてください
 - ・吊りワイヤの連結部がはずれていませんか
 - ・グリルの吊りワイヤが配線などと接触していませんか
 - ・吊りワイヤがブリーからはずれたり、はさまったりしていませんか

グリルの吊り方



グリルブリーへの吊りワイヤの通し方



2. 通电の有無で次の対応を行ってください。

エアコンに電源が通電されている場合

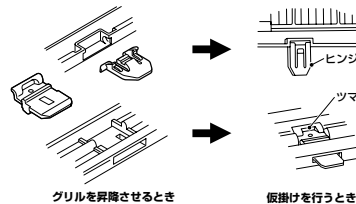
- ① 吸込グリルのツマミ（2カ所）をはずして、グリル連結キットに付属しているシールを貼り付けてください。ヒンジはそのまま取りはずしてください。ヒンジ・ツマミは、取付説明書と一緒に保管してください。
- ② ヒンジ・ツマミが取り付けられないのを確認し、オートグリル用リモコンで吸込グリルを上昇させます。

エアコンに電源が通電されていない場合

- ① 電源が通電されるまで吸込グリルに取り付けてあるツマミとヒンジをそのまま使用し、ワイヤが外に出ないように吸込グリルを取り付けてください。
- ② 通電したら、必ず上記の“エアコンに電源が通電されている場合”の説明に従い、作業を行ってください。

ヒンジ・ツマミの取り付け方（応急時）

仮掛けを行う場合には、室内ユニットのグリルに取り付けてあったツマミおよびヒンジを使用してください。



グリルを昇降させるとき

仮掛けを行うとき

7.据付後の設定・その他

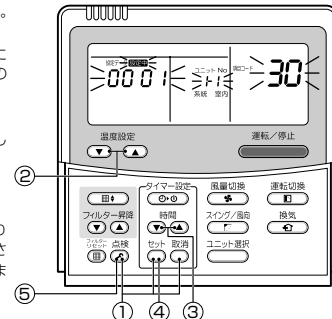
(1) 据付後の確認

- 配線接続が確実にされていることを確認します。
 - ※接続されていないと、グリルの昇降動作ができなくなります。

(2) 昇降グリルをワイヤードリモコンから操作するための設定方法

ワイヤードリモコンの「フィルタ昇降」ボタンでグリルを操作するためには必ずワイヤードリモコンから下記設定を行ってください。

- この設定をしないと「」ボタンを押しても“この機能はありません”が表示されます。
- ① 「点検」 + 「セット」 + 「取消」 ボタンを同時に4秒間以上押しします。
 - ※オートグリルを設置している室内ユニットを含むグループ制御を行う場合は親機に対して設定する必要があります。最初に表示されるユニットNOはグループ制御の親機のアドレスですので「ユニット選択」ボタンを押さないでください。
 - ② 温度設定の / ボタンで項目コード「30」を指定します。
 - ③ タイマー時間の / ボタンで設定データを「0000」から「0001」に変更します。
 - ④ 「セット」 ボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればOK）
 - ⑤ 設定が終了したら「点検」ボタンを押します。（設定が確定します。）
 - 「点検」ボタンを押すと設定中が点滅し、その後表示が消えて通常の停止状態になります。 ボタンを4秒間以上押して液晶表示部に“フィルタ昇降”と表示されることを確認してください。再度 ボタンを押すと通常の停止状態に戻ります。



ワイヤレスリモコン対応の場合

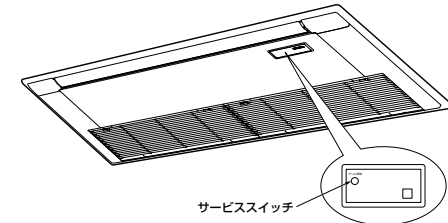
- 別売品のオートグリル操作専用ワイヤレスリモコンでも昇降グリルの操作が可能です。
- 別売ワイヤレスリモコンキットを併用する場合は、別紙「オートグリルキットとワイヤレスリモコンを併用する場合」を参照してください。

(3) 据付後の動作確認

- (2) の設定終了後に、動作確認を行ってください。
- 電源投入時、初めて操作した場合は、下げるを押しても上昇動作をします。
- 昇降グリルが室内ユニットにきちんと収まると、収納動作を2回くり返した後、モータが停止します。
- 昇降メカA、Bの吊りワイヤの長さが異なる条件でグリルを上昇した場合、グリルが収納できずに途中で停止することがあります。このような場合はグリルブリーから吊りワイヤがはずれていないことを確認してから、再度グリルを上昇させてください。

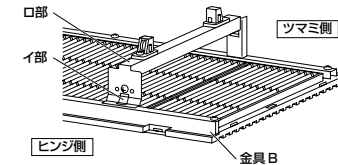
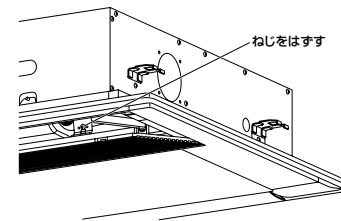
(4) サービス時

- リモコン（ワイヤード・オートグリル操作専用ワイヤレスリモコン・ワイヤレス）を使用しなくても、右図のサービススイッチにて、昇降が可能です。サービススイッチは押すことに、上昇、停止、下降をくり返します。

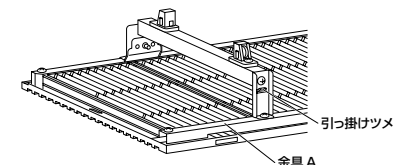
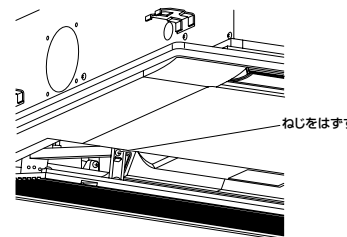


オートグリルが動作しない場合（故障及び停電時）の取りはずし方

- ① 昇降グリルのヒンジ側を引き下げてブリー台のイ部を押さえながらねじをはずし、ブリー台と金具Bをはずします。（ブリー台はバネで上に戻りますが、イ部を押えている指がはさまらないように、反対の手で口部に持ち替えてから静かに戻してください。）



- ② 昇降グリルのツマミ側を引き下げて金具Aを押えながらねじをはずします。
- ③ 引っ掛けツメをはずして昇降グリルを取りはずします。



上記項目を確認した後、この説明書とユニット本体及び別売部品の説明書等の一式全てとヒンジ・ツマミをお客様へ渡してください。
その際、ユニット本体の取扱説明書に記載されたフィルターの清掃の説明を必ずお客様へしてください。